

湿害に強い新しい台木「Bounty」の特性

水田転換園でキウイフルーツの健全な生育を目指して

苗の湛水試験

供試系統 Bounty挿し木苗
〔2021年7月にミスト下で緑枝挿しをし、8月30日にビニルポットへ移植〕

府中(シマサルナシ)の交雑実生苗
〔2020年の交配種子を2021年5月下旬にセルトレーに播種し、7月下旬にビニルポットへ移植〕

湛水期間 2021年9月21日～10月21日

試験方法 プラスチックコンテナ内に個体を置き、水が用土表面まで浸かるように適宜水を足して水位を保持



1か月後の状況



Bounty



シマサルナシ(府中×EAR1)

表1 湛水試験後の落葉率、枯死率、根の乾物重

系統名・交配組合せ		落葉率 (%)	枯死率 (%)	根の乾物重 (g)
Bounty		16.0	0	0.26
府中	× 中村B(シマサルナシ)	76.3	30	0.17
府中	× EAR1(シマサルナシ)	39.0	0	0.30
府中	× EMC5(中国系2倍体)	81.0	20	0.38
府中	× EMC6(中国系4倍体)	48.5	0	0.08

水田転換園での現地試験



バウンティ台ハイワードを2021年3月定植

ハイワード定植3年目(2018年)に豪雨・乾燥により枯死

2021年は5月12日頃に梅雨入りし、5月の降水量がかなり多く、8月も台風の影響で降水量が多かったが、**Bountyのみ枯死しなかった**

表2 定植1年目の生育状況 (2021年12月)

台木の種類	主枝長 (cm)	枯死率 (%)
Bounty	189	0
シマサルナシ	129	60.0
慣行	146	81.8

・**Bounty**は、湛水条件下でも落葉が少なく、根の異常もみられなかったことから、**湿害に強い**と考えられる。また、穂品種(ハイワード)接ぎ木後もその特性は維持されると考えられる。

・**シマサルナシの交雑実生**は、湛水処理後の根は褐変し、衰弱しているものが多かった。